

東大和三中だより

令和8年3月9日

3月号 (No.11)

発行 東大和市立第三中学校

『今年度の Mission Complete！0学期の準備も上々、来年度へ！』

校長 中屋 珠美

4月の全校朝礼で『今年度のミッションを“笑顔で苦難に立ち向かう人”笑顔を大切にみんなで頑張っていきましょう』とお話いたしました。学校生活の中ではお互いに助け合い励まし合いながら、笑顔で1つの目標に向かって取り組む姿が多くみられ、集団としての質を向上できました。今年度の今年度の Mission Complete です。よく頑張りました。

ところで、毎週月曜日に職員昇降口、中央階段の1階から2階の踊り場、放送室前に季節の生け花が飾れていたのを知っていますね。本校の卒業生の保護者の方2名が、ご自分のお子さん（つまり君たちにとって先輩）の卒業後に、何か三中に保護者としてできることはないか、と考え、学校の雰囲気明るくなり、心が和むようにと12年間欠かさず月曜日にお花を活けてくださっていました。ご家庭の事情もあり先月末をもって活動を卒業されました。私は月曜日に新しく飾られた生け花を見るのが楽しみでした。校庭に咲く花が美しく生けられた姿に季節を感じ、まじかで愛でることで気づかなかった美しさや自然の摂理に感動しました。自然の色や香りによって気持ちが落ち着きやすくなり、ストレスや緊張をやわらげる効果やその場の印象が明るく変わることで、モチベーションが上がったり、集中力をたかめる効果があるといわれています。特に学校では、安心感、授業への集中、人を大切に作る心がはぐくまれるといわれています。

このような活動をボランティアといいます。自発的に、人が人として助け合って生きる社会をめざし、無償で自分の時間や労力を提供する行為です。本校はボランティア活動が盛んな学校です。誰かのために自然に行動できることは社会の中で生きるために必要なスキルです。同時に自分が誰かの役に立っていることで、社会とのつながりを感じ、自己有用性や自己肯定感を高めながら、豊かな心が育まれます。来年度からは、地域の一員として地域に貢献できる人創りを中心に『防災教育～共助』を中心に学んでいきます。今まで以上に人とつながること、相手の思いに寄り添い行動できること。地域から頼りにされる三中生になってもらいたいと願っています。

最後に1年生はすっかり中学生に、2年生は充実した活動の中に先輩を自覚した行動が目立ちました。また3年生は最終学年として後輩たちの良き手本となってくれました。特に3学期は、どの学年も次の学年の0学期として自覚し、準備する学期と捉え、意識しながら生活ができていたこの3学期でした。4月には全学年大きく飛躍できると確信しています。特に3年生は3年間の自分の努力と成長を大きな自信に変えて、新たな学びの場での成長を期待しています。

保護者の皆様

今年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜りありがとうございました。なかなか素直に自己表現をすることが苦手な年齢ですが、生徒一人一人は自分の課題に向き合いながら、伸びしろの差はあるもののみんな成長をしています。来年度も大きな声援と後押しをお願いします。本校職員もまた、反省を生かし改善しながら教育活動を進めていきます。

令和7年度 第53回 卒業式について

令和8年3月18日(水)に、本校の体育館で第53回卒業式を行います。1、2年生は、代表生徒(生徒会役員等)のみの参加としました。9年間の義務教育を修了し、それぞれの進路に夢と希望をもって歩いていく3年生を、保護者の皆様とともに学校全体で祝いたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【予定】

- ・保護者受付 9時から9時20分 場所:東昇降口付近
- ・卒業生入場 9時25分
- ・開 式 9時30分
- ・閉 式 11時10分(予定)

【留意事項】

- ・保護者の座席数には限りがあるため、参加については各ご家庭2名程度とさせていただきます。
- ・スリッパ等、上履きをご持参ください。また、外履きを入れる袋もご準備ください。
- ・自動車でのご来校はご遠慮ください。

キャリア教育について

令和8年2月13日(金)、1年生を対象に、ハローワークの方から職業講話をしていただきました。話の中で、子どもたちが事前に行ったレディネステストの結果を基に、詳しく解説していただきました。職業の分類などを基に、子どもたちは自分に向いている職業について知ることで、自分自身をより深く理解できるようになりました。今後も、職場体験等を通して、勤労観や職業観を身につけてほしいと思います。



国際理解教育について

令和8年3月3日(火)、1年生を対象に、元オリンピック選手の方を招いて、国際理解教育を行いました。生徒たちは、スポーツを通じた各国の活動について、理解を深めることができました。これからも国際理解を通して、世界平和を実現する姿勢をもち続けてほしいと思います。

